

ソーラーカー作り 「太陽の力」を実感

温暖化対策ネットが教室

宇部市地球温暖化対策
ネットワーク（UNCC
A）のミニソーラーカー
工作教室は24日、青少年
会館であり、小学生23人
がソーラーカーを作った
り、太陽光発電について
学んだ。りした。

国立青少年教育振興機
構の子どもゆめ基金助成
活動として24日と8月7
日の2回、実施する。

最初に座学を行い、松
重泰夫PV-Net山口

地域交流会副代表世話人
が「おひさまと電気のは
なし」のテーマで、太陽
光で電気が起こる仕組み
を分かりやすく話した。

工作教室ではグループ
に分かれて、太陽光パネ
ルを車体上部に付けるミ
ニソーラーカーを製作し
た。子供たちは指導を受
けながら設計図通りに組
み立てていた。この後、
会館グラウンドに場所を
移し、組み立てたソーラ
ーカーを走らせた。地面
にでこぼこがあり、なか
なかに進まない車があ
る一方で、車輪を抵抗の
少ないように上手に付け
て、すいすいと走るソー
ラーカーもあった。

石原駆留君（黒石小5
年）は「以前、学校で作
ったことがあるが今回の
ソーラーカーの方がよく
走った」とにっこり。溝
田忠人UNCCA代表は

2014年7月25日

宇部日報

「子供たちは太陽の力を
実感できたと思っ」と話
した。
（浅野）



すいすい走る車に感激の参加者（青少年会館で）